

KEY TOPIC

未曾有の人手不足に中広グループが挑む!

# 人材採用難への打開策

現在、日本は危機的な人手不足に陥っています。優秀な人材はもちろんのこと、事業を継続するための人材確保にも事欠く状況が蔓延しており、人手不足に起因する倒産数は3年連続で過去最高を記録しました。特に地方で顕著な企業と求職者のマッチング不全を打開するべく、『地域みっちゃく生活情報誌』では地域課題の解決に向かっています。

## 日本が抱えている労働力不足という難題

少子化という言葉を近年、頻繁に耳にしますが、実は日本の少子化は1975年から始まりました。この年の出生数は約190万人。しかし、1人の女性が生涯に出産する子どもの推定人数である出生率は、人口維持水準を下回りました。その後、日本の出生率は右肩下がり続け、2016年に年間の出生数が100万人を割りました。最新データとなる2025年の出生率は過去最低となる1.14まで下がり、出生数も統計開始以来最小となる67万人。1975年と比べると実に123万人も減少しています。



これが何を意味するかというと、労働力人口の減少に他なりません。社会を支える労働力の絶対数が減り続けた結果、2025年度は人手不足による倒産が前年度の約1.3倍に増加、3年連続で過去最多を更新しました。数十年続く少子化の影響によって、日本は未曾有の人手不足に陥っているのです。

## 認知不足による企業と地域住民の接点欠如

この状況は地方でさらに過酷さを増します。進学や就職を機に若者が地元を離れることで地域の労働力人口はさらに減るばかりか、その奪い合いが起きるからです。

一方、求職者は思いのほか、地域の企業のことを知りません。超大手企業のようにテレビCMを打っているわけではなく、新聞購読率も下がり続けている現在、地域企業と地域住民の接点は驚くほど低く、適切な

認知が醸成されていないのです。

どんな地域にも、確固たる技術やビジョン、あるいは圧倒的なシェア、充実した福利厚生など、ストロングポイントを備えた素晴らしい企業はたくさんあります。そして多く

作り出すことに成功しました。「1カ月で約30人もの応募につながった」「早々に採用が完了できた」など、クライアントからも満足の声寄せられています。

また、この秋に発行する9月号では、地域企業と地域読者をつなぐ大型企画を、直営誌で実施します。前述のように、地域に存在する企業の素晴らしい魅力、ストロングポイントを余さず伝えることでブランディングと認知を促進。就職活動を行っている地域の求職者はもちろん、学生の秋冬採用、年末の繁忙期に向けた人材確保、将来のUIターン採用にも役立て、人手不足という地域企業が直面している難題の打破に尽力したいと考えています。

## グループシナジーで企業と読者をつなぐ

中広グループには、約50年にわたって求人広告を扱ってきた会社を源流とする求人採用のプロフェッショナル集団、CWI(中広ワークイン)があります。CWIは東北地方と北陸地方の8県で総合求人メディア『Workin』を発行しているだけでなく、採用管理システム『TalentClip』によるWEB領域の求人展開も大いに得意としており、まさに地域の採用課題解決を経営理念としています。

中広グループ各社が持つ知見と技術のシナジーにより、『地域みっちゃく生活情報誌』の求人反響力はより強固になりました。今後も紙とWEBを両輪に、企業と求職者を深くつなぐ魅力的な企画、実用性の高いプランを開発し、地域の採用課題解決に挑み続けます。

の人は、できるだけ自分の求めるライフスタイルを満たせる、持っている技能を生かせる、成長を目指せるなど、ベクトルは様々ですが、やりがい・働きがいのある企業に就職することを求めています。それなのになかなか出会えない。すなわち、企業と求職者のマッチング不全が起きているのです。

## 情報誌が提供する人手不足解決の多彩な施策

こうした状況を打破すべく、『地域みっちゃく生活情報誌』では昨年度、求人を行っている企業と求職者の接点を増やすことを目的とした「求人拡散プラン」を実施しました。これは誌面に掲載された求人情報が、同時にWEB上の主要な求人検索サイトに掲載される仕組みです。情報誌による認知を経て、WEBで情報拡散されるこのプランにより、従来に比べて約5倍もの反響を

COLUMN

# 人生三訓

—— 人間力を磨き、自らの舵を握れ ——

## 人間力が試される夏 早起きで悪習を断つ

7月に入り、日本列島はいよいよ真夏です。連日、テレビをつければ「危険な暑さです」「不要不急の外出は控えて」と繰り返されています。大自然の猛威に人間は勝てません。自分の身は自分で守る、これが原則です。

私は暑さ対策を二つ実践しています。まずは「暑い」と口に出さないことです。暑いものは暑いですが、口にしても涼しくはなりません。むしろ気持ちまで暑さに支配されてしまいます。哲学者・森信三も、「一流になるには、『暑い』『寒い』を口に出さないこと。口に出すと気が逃げる」と教えるを説いています。

もう一つは早起きです。私は毎朝4時をメドに起きたら、美味しい朝の空気をいっぱい吸い、好きな本を読み、友人にメールを送り、ブログを書き、新聞に目を通します。そして6時30分からはラジオ体操、ウォーキングです。汗を流したあとのシャワーは実に爽快です。

早起きは暑さ対策に留まりません。生きていくとさまざまな問題が起きますが、その元はわがままな心にあります。気がついて何もせず先延ばしする。これが癖になり、強情となり、不純な心の濁りとなって堆積していく。そうした悪い習慣の大元が朝寝です。早起きの秘訣は「さあ明朝から早く起きるぞ」と決めて起きる、大切なのはこれだけです。気づいた時が、その物事を処理する最高のチャンス。環境のせいにするのか。それとも工夫して乗り越えるのか。そのちょっとした差が、人生が潤うかどうかを左右します。

自分を取り巻く環境に対して、工夫し備える姿勢は、直面する世界的な危機に向き合う時にも重要な意味を持ちます。日本は原油輸入の9割を中東地域に依存しています。政府は「備蓄は十分ある。代替調達先も確保できる」と繰り返し説いていますが、「国民は愚にして賢なり」です。最近の世論調査では、多くの国民が石油やエネルギーの節約を進めるべきだと答えています。私はこの感覚を大切にしたい。杞憂で終わるなら、それに越したことはありませんが、万が一に備える、それこそが危機管理です。中広グループは率先して無駄を排除します。電気を大切に使う。ガソリンを無駄にしない。会議や出張のあり方を見直す。一人ひとりの自分事としての意識が、結果として大きな力になります。危機とは人間の真価を試す機会でもあるのです。

## 『ぴあ』復活が示す紙媒体の真価

私たちの事業の柱である紙媒体を取り巻く環境も、決して平坦な道のりではありませんでした。岐阜県可児市で発行した『かにさんくらぶ』は7月号で373号、創刊から32年を数えます。これまで「ペーパーレスの時代に紙は古い」「デジタルには勝てない」と、散々言われ続けてきました。しかし、本当に紙は終わったのでしょうか。

この4月、興味深い出来事が起こりました。1972年に創刊し、最盛期80年代には約100万部を販売した『ぴあ』の復活です。復刊号『とぶ!ぴあ』の特徴は誌面に掲載されたQRコードにあり、読者がスマホで読み取ると、詳しい情報へ飛ぶことができます。



紙媒体とAI

面白い発想ではありますが、この「紙とデジタルの融合」こそ、中広グループが長年取り組んできたことです。紙に記載できる情報量には確かに限界がありますが、QRコードをつければ情報は無限に広がります。QRコードから広告主のホームページへ、予約サイトへ、動画へ、SNSへ。『地域みっちゃく生活情報誌』の圧倒的な到達力とデジタルの利便性を融合した広告手法を、「ハイブリッド広告」と呼んでいます。

紙のメリットと言えば、東京大学の研究チームは、紙の本で漫画を読んだ方がタブレットより理解しやすいという研究結果を発表しました。ページを捲る。本の厚みを感じる。今日の辺りを読んでいるかが分かる。こうした触覚的な体験が理解力を高めるそうです。物事はそれがどれほど文明をリードしようとも、急激過ぎたり、偏り過ぎると、元に戻る習性があります。紙媒体回帰の時代は静かに始まっているのではないのでしょうか。

私は『ぴあ』の復活を歓迎します。紙媒体の価値を若者に再認識させる功績は大きい。しかし、同時に思うのです。雑誌が再び何十万、何百万部と売れる時代は戻りません。情報が無料であることが当たり前になったからです。新聞が苦戦する理由もそこにあります。一方、『地域みっちゃく生活情報誌』はフリーな媒体です。無料で各ご家庭のポストに直接届くからこそ、リビングに置かれ、家族内で何度も読み回される。超アナログなフリーメディアだから、今の時代に最もマッチしている。私はそう確信しています。

## 良書・良友・良師こそ己を磨き抜く最高の糧

私たちが向き合わなければならないもう一つの大きな時代の変化があります。それはAIの存在です。AIは間違いなく社会の仕組みを激変させつつあります。だからこそAIを排除するのではなく、共に生きる道を模索すべきです。「これは人間にしかできない仕事だ」とくらくをかいているのは、人間の文明に対する驕りにほかなりません。

けれども、私は思うのです。紙媒体の流れが来ても、AIが発達しても、自ら変わろうとしなければ何の意味もないのだと。追い風は船を前に進めてくれます。しかし、舵を握る人間が未熟であれば、座礁してしまいます。どんなに良い環境が訪れても、それを生かすのは、私たち自身です。そのために、自らを磨き続ける必要があります。具体的な方法として、皆さんと「三訓」を共有します。

第一に、良書を読むこと。自分一人の経験には限界がありますが、良書を読めば何百年もの何千人もの知恵に触れ、人生をより深く、豊かなものにしてくれます。

第二に、良友を持つこと。人は人の海でしか生きられません。分かち合えば嬉しさは倍、悲しみは半分になります。良友は人生の財産です。

第三に、良師に学ぶこと。良師は人生の道標として、迷った時に道を示してくれます。この三訓、あなたはどうか考え、どう実践しますか。

『地域みっちゃく生活情報誌』の発行部数は1,100万部超。全国5,000万世帯に紙媒体を届けるという目標は、もはや夢物語ではありません。その実現のために人生三訓を実践しましょう。もちろん上機嫌を忘れずに。今年の年頭に掲げた「ありがとうが飛び交う職場」を実践し、共に日本を元気にしていこうではありませんか。

11,943,353部

※情報は2026年6月発行号に基づき掲載しています ※VC発行エリアを含む ※世帯到達率は配布部数を2026年1月1日現在の各県が公表している世帯数で割り算

北海道 道内発行媒体数 5誌 総発行部数 867,540部

SORA vol.136 滝川市・砂川市・赤平市・歌志内市・新十津川町・奈井江町 41,500部 20日発行

ふりっぼー 札幌市豊平区・清田区・南区・中央区(東部)・北広島市大曲 229,675部 第4火曜日発行

豊平区・清田区 札幌市豊平区・清田区・南区・中央区(東部)・北広島市大曲 229,675部 第4火曜日発行

北区・東区版 vol.215 札幌市北区・東区 236,370部 第4火曜日発行

白石区・厚別区版 vol.241 札幌市白石区・厚別区 173,615部 第4火曜日発行

西区・手稲区版 vol.251 札幌市西区・手稲区 186,380部 第4火曜日発行

岩手県 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 120,000部

盛岡市・滝沢市(一部)・矢巾町(一部)・紫波町(一部) 120,000部 2期4回以上の未発行

秋田県 先月より4,900部増 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 120,900部

QKuRaSu vol.204 秋田市 120,900部 1日発行

宮城県 県内発行媒体数 6誌 総発行部数 587,070部 県内世帯到達率 50%以上

仙台版 vol.148 石巻市・東松島市 59,000部 20日発行

大崎市 vol.112 大崎市 40,000部 20日発行

仙台市泉区 仙台市泉区 84,600部 20日発行

名取市・岩沼市 名取市・岩沼市 53,830部 20日発行

ARIFT 仙台市宮城野区・仙台市若林区・仙台市太白区・塩釜市・名取市・岩沼市・多賀城市・宮城郡七ヶ浜町・宮城郡利府町 171,290部 第4または第5金曜日発行

仙台南版 vol.1869 仙台市宮城野区・仙台市若林区・仙台市太白区・塩釜市・名取市・岩沼市・多賀城市・宮城郡七ヶ浜町・宮城郡利府町 178,350部 第4または第5金曜日発行

山形県 県内発行媒体数 2誌 総発行部数 216,550部 県内世帯到達率 50%以上

【東おきたま版】 米沢市・南陽市 60,000部

【西おきたま版】 高島町・川西町 22,000部

【東おきたま版】 高島町・川西町 22,000部

【西おきたま版】 高島町・川西町 22,000部

ARIFT vol.1869 東江中・若林山部・若林山部・若林山部・若林山部 134,550部 第4または第5金曜日発行

福島県 県内発行媒体数 2誌 総発行部数 86,500部

月刊 すかお vol.123 須賀川市・鎌石町・天栄市 53,500部 25日発行

月刊 こみと vol.45 白河市・西郷村 33,000部 25日発行

茨城県 県内発行媒体数 5誌 総発行部数 250,270部

日立市 vol.200 日立市 62,000部 25日発行

にしも vol.157 筑西市・下妻市 44,000部 25日発行

ここがも vol.133 古河市・埴町 52,000部 25日発行

かす vol.152 鹿嶋市・神栖市 50,000部 25日発行

ちいき新聞 vol.475~477 守谷市・つくばみらい市・取手市 42,270部 毎週金曜日発行

栃木県 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 52,000部

おりっぷ vol.121 小山市 52,000部 25日発行

群馬県 県内発行媒体数 5誌 総発行部数 343,000部

太田フリモ vol.112 太田市 50,000部 25日発行

桐生みどりフリモ vol.104 桐生市・みどり市 50,000部 25日発行

伊勢崎フリモ vol.149 伊勢崎市 63,000部 25日発行

前橋フリモ vol.149 前橋市 60,000部 25日発行

高崎フリモ vol.344 高崎市 120,000部 25日発行

埼玉県 100万部以上! 県内発行媒体数 8誌 総発行部数 1,032,605部

クッキーズ vol.136 久喜市 52,000部 第4火曜日発行

とねし vol.136 羽生市・加須市 56,400部 第4火曜日発行

MAONARIVE vol.127 熊谷市 62,000部 1日発行

Seven vol.70 深谷市 44,000部 20日発行

ほろ vol.670 所沢市・入間市・狭山市・飯沼市・川越市・さいたま市野上区・岩槻区・中央区 175,045部 第2または第3金曜日発行

ARIFT 新座市・志木市・朝霞市・和光市・戸田市・川口市・蕨市・さいたま市浦和区・南区・緑区・岩槻区・桜区・中央区 298,180部 第2または第3金曜日発行

埼玉中央版 vol.1866 さいたま市西区・岩槻区 157,890部 第1または第2金曜日発行

埼玉東版 vol.1866 越谷市・春日部市 187,090部 第1または第2金曜日発行

東京都 都内発行媒体数 1誌 総発行部数 99,820部

ARIFT 東京都足立区 99,820部 第1または第2金曜日発行

千葉県 100万部以上! 先月より993部増 県内発行媒体数 39誌 総発行部数 1,699,163部 県内世帯到達率 50%以上

ちいき新聞 佐倉西版 vol.2314~2316 佐倉市 43,565部 毎週金曜日発行

八千代台版 vol.2314~2316 八千代市 62,460部 毎週金曜日発行

習志野版 vol.2314~2316 習志野市・船橋市 40,300部 毎週金曜日発行

船橋東版 vol.2314~2316 船橋市 46,220部 毎週金曜日発行

津田沼版 vol.2314~2316 船橋市 40,530部 毎週金曜日発行

習志野西版 vol.2314~2316 習志野市 38,630部 毎週金曜日発行

専務版 vol.2314~2316 千葉市花見川区 37,445部 毎週金曜日発行

千葉NT版 vol.1429~1431 印西市・白井市 47,385部 毎週金曜日発行

成田版 vol.1429~1431 成田市 41,945部 毎週金曜日発行

佐倉東・酒々井版 vol.1429~1431 佐倉市・酒々井町 22,395部 毎週金曜日発行

富里・八街版 vol.1429~1431 富里市 20,115部 毎週金曜日発行

船橋北版 vol.1311~1313 船橋市 32,615部 毎週金曜日発行

鎌ヶ谷版 vol.1311~1313 鎌ヶ谷市・白井市 40,065部 毎週金曜日発行

船橋南版 vol.1195~1197 船橋市 46,695部 毎週金曜日発行

船橋中央版 vol.1195~1197 船橋市・市川市 46,965部 毎週金曜日発行

八幡版 vol.1195~1197 市川市・松戸市 53,820部 毎週金曜日発行

市川版 vol.1187~1189 市川市 40,690部 毎週金曜日発行

船橋西版 vol.1195~1197 市川市・船橋市 56,325部 毎週金曜日発行

美浜版 vol.1300~1302 千葉市美浜区 45,942部 毎週金曜日発行

千葉北版 vol.1300~1302 千葉市花見川区 29,590部 毎週金曜日発行

若葉版 vol.1300~1302 千葉市若葉区 43,700部 毎週金曜日発行

四街道版 vol.1300~1302 千葉市稲毛区 36,019部 毎週金曜日発行

千葉中央版 vol.1300~1302 千葉市中央区・稲毛区 47,288部 毎週金曜日発行

稲毛版 vol.1300~1302 千葉市稲毛区 42,145部 毎週金曜日発行

蘇我版 vol.1300~1302 千葉市中央区 33,081部 毎週金曜日発行

千葉南版 vol.1300~1302 千葉市中央区・緑区 56,332部 毎週金曜日発行

市原版 vol.1202~1204 市原市 58,301部 毎週金曜日発行

木更津・袖ヶ浦版 vol.1202~1204 袖ヶ浦市・木更津市 37,145部 毎週金曜日発行

松戸駅周辺版 vol.1187~1189 松戸市 62,450部 毎週金曜日発行

八柱・五香版 vol.1181~1183 松戸市・柏市 65,335部 毎週金曜日発行

新松戸・北小金版 vol.1181~1183 松戸市 63,430部 毎週金曜日発行

神奈川県 県内発行媒体数 3誌 総発行部数 580,400部

ARIFT 横浜中央版 vol.1868 横浜市磯子区・港北区・神奈川区・中区・西区・南区・港南区・旭区・保土ヶ谷区・鶴見区 307,140部 第3または第4金曜日発行

田園都市版 vol.1868 横浜市青葉区・緑区・都筑区・川崎市宮前区 138,470部 第3または第4金曜日発行

川崎東・大田区版 vol.1868 川崎市中原区・川崎区・東京都大田区・品川区 134,790部 第3または第4金曜日発行

新潟県 先月より47,500部増 県内発行媒体数 5誌 総発行部数 390,500部

まると下越! vol.99 新潟市・村上(一部) 54,000部 30日発行

まると県央! vol.147 三条市・燕市 64,000部 25日発行

まると上越! vol.129 上越市・妙高市 63,000部 20日発行

まると新潟! vol.10 新潟市中央区・西区 107,500部 28日発行

まると生活情報 vol.509~510 長岡市・見附市 102,000部 第2-4土曜日発行

富山県 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 33,500部

niikawa vol.9 魚津市・黒部市 33,500部 月未発行

福井県 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 33,928部

kirameki club vol.217 敦賀市・美浜町 33,928部 25日発行

山梨県 県内発行媒体数 3誌 総発行部数 154,000部

ピレレ vol.167 笛吹市・山梨市 38,000部 25日発行

Parupi vol.266 甲府市・甲斐市 82,000部 第4火曜日発行

なないろ vol.155 韮崎市・北杜市 34,000部 20日発行

長野県 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 81,000部

月刊ぶらぶら vol.415 諏訪市・茅野市 81,000部 25日発行

岐阜県 県内発行媒体数 12誌 総発行部数 741,552部 県内世帯到達率 88.8%

SARUBOBO vol.364 高山市・飛騨市 54,500部 28日発行

GUJO vol.211 郡上市 20,000部 20日発行

maika vol.238 中津川市・恵那市 44,600部 25日発行

らせる vol.212 土岐市・瑞浪市 36,610部 25日発行

おりべ vol.266 多治見市 44,970部 25日発行

かにさんくび vol.373 かに版 48,090部 毎週金曜日発行

かにさんくび vol.373 かに版 44,500部 毎週金曜日発行

かにさんくび vol.373 かに版 31,120部 毎週金曜日発行

ぎららくらぶ vol.236 関市・美濃市 42,777部 20日発行

たんとん vol.263 各務原市 59,800部 20日発行

GIFUTO vol.206 岐阜市 76,230部 119,995部

mintap vol.232 本美市・瑞穂市 47,000部 20日発行

はしまる vol.112 羽島市 24,990部 25日発行

Wao!Club vol.279 本美市・瑞穂市 47,000部 20日発行

静岡県 県内発行媒体数 8誌 総発行部数 496,180部

mydo vol.316 三島市・清水町 67,700部 月未発行

沼津版 vol.364 沼津市 57,600部 月未発行

富士版 vol.402 富士市 69,100部 月未発行

富士宮版 vol.169 富士宮市 30,300部 最終金曜日発行

葵区版 vol.134 静岡市葵区 79,210部 第3または第4土曜日

駿河区版 vol.131 静岡市駿河区 75,110部 第3または第4土曜日

清水区版 vol.103 静岡市清水区 67,260部 第3または第4土曜日

ふじえへら vol.96 藤枝市 49,900部 20日発行

愛知県 100万部以上! 県内発行媒体数 25誌 総発行部数 1,701,570部

くれよん vol.160 江南市・大口町 60,600部 未日発行

岩倉・北名古屋版 vol.142 岩倉市 58,250部 未日発行

一宮・福沢版 vol.313 一宮市 208,400部 20日発行

清須・あま版 vol.108 清須市・あま市 66,400部 未日発行

海部・津島版 vol.92 津島市・大治町 59,900部 28日頃発行

西区・北区版 vol.15 名古屋市中区 63,200部 未日発行

北版 vol.9 名古屋市北区 61,800部 第4木曜日発行

南版 vol.9 名古屋市中区 60,000部 第4木曜日発行

守山フリモ vol.173 名古屋市守山区 68,200部 第4木曜日発行

緑区フリモ vol.167 名古屋市緑区 83,200部 第4木曜日発行

HANAMARU vol.24 豊橋市 100,000部 最終金曜日発行

ぶらりん vol.117 豊田市 115,600部 未日発行

西尾フリモ vol.127 西尾市 41,300部 第3金曜日発行

アサヒトセト vol.168 尾張旭市 64,900部 第4金曜日発行

KA.NA.U CLUB vol.104 みよし市 23,100部 第3金曜日発行

ゆいまる vol.120 豊明市 26,610部 第3金曜日発行

cocolu vol.15 刈谷市・知立市 62,000部 第3金曜日発行

北知多フリモ vol.65 大府市・東海市 65,000部 第4金曜日発行

安城フリモ vol.64 安城市 40,300部 第3金曜日発行

岡崎フリモ vol.49 岡崎市 62,300部 第3金曜日発行

Step vol.268 半田市 65,000部 25日発行

はる vol.160 春日井市 114,900部 第4金曜日発行

リッパ vol.168 大山市・扶桑町 35,510部 第4金曜日発行

三重県 県内発行媒体数 9誌 総発行部数 624,909部 県内世帯到達率 80.7%

びっし vol.244 桑名市・いなべ市 70,740部 28日発行

おのり vol.225 四日市市 59,143部 28日発行

Bellve vol.239 鈴鹿市・亀山市 84,800部 28日発行

リィーガ vol.179 名張市・伊賀市 55,561部 28日発行

つっぴす vol.219 津市 104,229部 28日発行

ひまひま vol.214 松阪市・多気町 73,465部 28日発行

イセラ vol.189 伊勢市・鳥羽市 64,940部 28日発行

さみと vol.128 志摩市 20,700部 25日発行

からっと vol.157 尾鷲市・紀北町 26,341部 28日発行

滋賀県 県内発行媒体数 5誌 総発行部数 322,166部 県内世帯到達率 50%以上

botejako vol.230 長浜市・米原市 56,900部 25日発行

konki vol.255 彦根市・多賀町 69,167部 25日発行

オウティ vol.185 近江八幡市 35,408部

清須・あま版 vol.108 清須市・あま市 66,400部 未日発行

海部・津島版 vol.92 津島市・大治町 59,900部 28日頃発行

西区・北区版 vol.15 名古屋市中区 63,200部 未日発行

北版 vol.9 名古屋市北区 61,800部 第4木曜日発行

南版 vol.9 名古屋市中区 60,000部 第4木曜日発行

守山フリモ vol.173 名古屋市守山区 68,200部 第4木曜日発行

緑区フリモ vol.167 名古屋市緑区 83,200部 第4木曜日発行

HANAMARU vol.24 豊橋市 100,000部 最終金曜日発行

ぶらりん vol.117 豊田市 115,600部 未日発行

西尾フリモ vol.127 西尾市 41,300部 第3金曜日発行

和歌山県 県内発行媒体数 2誌 総発行部数 64,000部

まいけふが vol.117 岩出市・紀の川市 40,000部 20日発行

まいとん vol.23 橋本市・かつらぎ町 24,000部 20日発行

鳥取県 県内発行媒体数 3誌 総発行部数 158,700部 県内世帯到達率 66.5%

つばさ vol.160 鳥取市 64,000部 第4月曜日発行

くらら vol.124 倉吉市・三朝町 37,200部 第4月曜日発行

こはく vol.148 米子市・境港市 57,500部 第4月曜日発行

広島県 県内発行媒体数 2誌 総発行部数 106,000部

はっから vol.23 廿日市市 41,000部 20日発行

えるびん vol.17 福山市 65,000部 25日発行

香川県 県内発行媒体数 1誌 総発行部数 70,600部

マルタ vol.129 丸亀市・宇多津町 70,60

## 地元リーディングカンパニーの新店舗をPR

地域みっちゃく生活情報誌

## 商品の魅力を丁寧に伝えられる巻頭特集の強み

三重県津市で発行する「つうび〜す」5月号では、食品メーカーの井村屋が地元オープンしたスイーツ店のPRを巻頭特集として手掛けました。商圏エリアの読者へ、新店舗の魅力を丁寧に届けることが目的です。

表紙には店舗の外観写真をメインに使用し、新店舗オープン話題性や期待感を伝えました。巻頭誌面は商品ビジュアルを中心に構成。読者が知りたい「どんな商品があるのか」「いくらで購入できるのか」という情報が分かりやすく伝わるよう工夫しました。その結果、読者プレゼントへの応募コメントには、「この商品を買に行きます!」という声が寄せられ、商品の魅力が来店意欲につながっていることがうかがえました。

巻頭特集としての注目度と、新店舗のオープン告知だけでなく、商品の魅力まで深く伝えられる記事としての強みを生かし、地域話題づくりと店舗PRに貢献できた事例となりました。

(つうび〜す編集室・中村)



## 読者のワクワクを引き出し、行動へつなげる

地域みっちゃく生活情報誌

## ターゲットに寄り添う誌面刷新で叶えた集客事例

昨年より年間契約をいただいているイオン鳥羽店。同店は40代以降の顧客層が中心であるため、5月号から誌面デザインを一新し、シニア層の方でも読みやすい文字サイズや、ユニバーサルデザインを意識した配色の再構築に注力しました。さらに今回は「誕生祭」という大型催事に合わせ、各テナントの売り出し・イベント情報をふんだんに盛り込んだ構成へとシフトしました。

その結果、イベント期間中は大盛況となり、クライアントからも喜びの声をいただいています。特に土日の2日間で、抽選会のクーポン回収数は78枚を記録。また、子ども向け催事の開催日には、関係者も驚くほどの来場数でにぎわったとのことでした。

クライアントの発信したい情報と、地域住民のニーズを的確にマッチングさせ、弊社の媒体力が「目に見える集客」へと直結した好事例となりました。

(イセラクラブ編集室・中井)



## 地域最大級の関心事を捉えた、総力企画

地域みっちゃく生活情報誌

## プレミアム付商品券特集で地域と店舗をつなぐ

『たんどんくらぶ』5月号では、岐阜県各務原市のプレミアム付商品券「らららチケット2026」をテーマに、表紙・巻頭特集・巻頭連動企画を展開しました。

巻頭特集では市長のコメントと共に商品券を紹介し、続く企画では実際に利用できる取扱店を掲載。クライアントには「登録は完了しているか」「商品券利用者向けの特典や限定メニューはあるか」といったヒアリングも実施し、消費者に選ばれるための販促施策を提案して、多くの事業者との接点づくりにつなげました。結果、読者にとって実用性の高い特集を実現でき、発行後は「商品券の利用が想定以上だった」といった声が寄せられました。

また、「商品券の発行を初めて知った」「使える店舗が分かって便利だった」との反響もあり、市の広報だけでは届きにくい層への情報発信として機能しました。地域の注目施策と連動し、読者・事業者・行政をつなぐ企画となりました。

(たんどんくらぶ編集室・加藤)



## 家族会議特集で読者ニーズを獲得

地域みっちゃく生活情報誌

## 相続やお墓、供養の情報を継続的に発信

愛知県西尾張エリアで6誌を発行する地域みっちゃく生活情報誌『くれよん』では、読者の暮らしに役立つ情報発信の一環として、年6回「家族会議特集」を実施しています。高齢化や相続への関心が高まる中、家族で将来について話し合うきっかけづくりを目的にスタートした企画です。

特集では、相続やお墓、供養など、誰もがいつか直面するテーマを取り上げています。なかでもお寺や相続に関する情報は読者からの関心が高く、「知りたい情報がまとまっていて助かる」「家族で話すきっかけになった」といった反響をいただいています。

継続的に実施することで読者からの認知も高まり、地域に根差した情報として定着。情報誌だからこそ届けられる身近で実用的な内容が支持され、読者と地域をつなぐ価値ある企画へと成長しています。今後も地域のニーズを的確に捉えながら、読者に必要とされる情報発信を続けていきます。

(くれよん編集室・平山)



## 第48回定時株主総会を開催

6月26日に第48回定時株主総会を開催し、株主の皆様へ第48期の事業報告および計算書類の報告をいたしました。第48期は「Data Driven Innovation」をスローガンに、AI機能「CAI(解)」の本格運用による広告提案や、中広ワークインの連結子会社化に伴う求人分野の強化を推進。これらのDX活用やグループシナジーが功を奏し、5期連続の増収・増益を達成いたしました。次期は「50X」を掲げ、地域データインフラ企業への変革を推進してまいります。

(管理本部・後藤)

## 第1回中部VCサミット開催

6月2日、名古屋市にて「第1回中部VCサミット」を開催しました。当日は11社36名が集結。

『地域みっちゃく生活情報誌』が担うべき社会的責任をはじめ、情報誌の企画・広告事例、AI導入による営業効率化の取り組みなどが発表されました。グループディスカッションでは「広告営業」をテーマに、活発な意見が交わされ、議論を深めました。今後も中部エリア57誌・約360万部という強固なネットワークの連携をより一層強化しながら、地域活性化を加速してまいります。

(アライアンス事業部・武)



## 第54回岐阜広告協会賞で2作品が入賞!

第54回岐阜広告協会賞グラフィック広告部門にて、当社企画・制作の2作品が入賞しました。岐阜県、世界農業遺産「清流長良川の鮎」推進協議会の「岐阜の鮎料理 魅力発信ブック及び鮎料理フェア名店ガイドブック」が金賞を受賞。さらにジビエ・唐辛子普及啓発実行委員会の「ジビলেরグルメスタンプラリー」が銀賞に輝きました。ジビলেরグルメスタンプラリーは昨年度のポスター部門金賞に続く受賞です。関係各位に感謝すると共に、今後も地域の魅力を発信するクリエイティブを追求してまいります。

(中部ソリューション部・田中)



## 温浴施設をお得に巡れるチケット企画が大反響

先駆者として温泉企画を毎年展開されている、姉妹誌の『月刊バームス』(宮崎県)のご協力のもと、チケット1枚で16カ所の温浴施設を割引価格で楽しめる「まるっと夏の湯めぐりチケット」を企画しました。

「温浴施設を紹介してほしい」という読者の声と、広告費がなかなか捻出できない温浴施設という背景から生み出した、チケット販売費を掲載料に充てる方式は3者にメリットがあります。さらに県内各地で情報誌を展開する強みを生かし、2誌の合同企画とすることで、エリア間の読者回遊を促し、読者および温浴施設から大きな反響をいただきました。今後も新潟県内の「まるごと」ネットワークを活用し、さらなる地域活性化を目指してまいります。



▲6月号誌面「まるっと夏の湯めぐりチケット」

### FM事業部

### 『Bellve club』編集室



▲『Bellve club』編集室のスタッフ

『Bellve club』は三重県鈴鹿市・亀山市で発行している『地域みっちゃく生活情報誌』です。モータースポーツの聖地として熱気あふれる鈴鹿市と、伝統ある東海道の宿場町として栄え、美しい里山や世界のブランドを支えるものづくりが息づく亀山市。最先端の産業と歴史ある文化、お茶やローソクといった特産品など、多彩な魅力が融合する2つのエリアを、5名の編集室スタッフが日々全力で駆け回っています。

毎号テーマを持って読者が新たな行動を起こすきっかけになるような企画を展開。地元の隠れた歴史や旬の話題、知られざる魅力を毎月徹底的に深掘りしているほか、お得なクーポン情報の発信にも力を注いでいます。

9月で記念すべき創刊20周年の節目を迎える『Bellve club』。地域の人にとってより一層なくてはならない存在となるよう、スタッフ一同、地域に暮らす喜びや新たな発見と感動をお届けできる誌面づくりに引き続き励んでまいります。

(Bellve club編集室・廣田)

## 編集後記

連日続く厳しい暑さと物価高が家計を直撃し、暮らしやレジャーを見直す動きが本格化しています。今月号で紹介したCDMR調査でも、多くの読者が身近な場所での楽しみを模索する姿が浮き彫りになりました。混迷の時代だからこそ、ご家庭のポストへ無料で直接届く情報誌の価値を改めて実感しています。

誌面でご案内したプレミアム付商品券や温浴施設の合同企画のように、家計に役立つお得な情報と地域の魅力を、紙とデジタルを融合させて確実にお届けすることが私たちの使命です。また、中広は情報誌の発行に留まらない総合広告会社です。グループ会社には求人やエンタメ、配布に特化した会社もあり、こうした総合力を生かしたさまざまなクロスメディア提案を視野に入れ、地域企業の成長に寄与してまいります。

(広報・マーケティング 岡本)

### 『ままこっこ』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園

【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)

【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等

【発行部数】 みやぎ版/25,000部

ちば(中部版)/50,000部

群馬版/57,000部

埼玉東版/25,000部

岐阜版/57,000部

### 『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

【配布先】 高校  
【仕様】 冊子A4 オールカラー  
【発行エリア】 山形県、群馬県、岐阜県、愛知県、三重県、滋賀県、鳥取県、福岡県



### 『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア

【設置先】 県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など

【発行部数】 青森版/12,000部

富山版/12,000部

秋田版/12,000部

石川・福井版/12,000部

【仕様】 冊子AB版 オールカラー

【発行時期】 隔週(月・火)※山形月一

【登録講師数】 7,000名

【年間実施件数】 400件以上

クーポンアプリ「フリモ」  
50%オフダウンロード突破!

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に!切り取らなくてもスマホで簡単に使える!

※ダウンロード数 561,623件

(2026年6月12日現在)



クリック!



クリック!



# 地域みっちゃん生活情報誌® 物価高は生活全体に広がる共通課題 物価高は読者の生活行動にも直撃

『地域みっちゃん生活情報誌®』では、地域動向を把握してより良い誌面作りや販促提案につなげるため、毎月読者アンケートとしてCDMR(CHUCO Digital Marketing Research)を実施しています。2026年5月号では「消費(物価高)」に関する意識調査を行い、全国の読者11,524人から回答を得ました。

今回の結果で特に注目すべきは、物価高による家計への影響を「感じる」と回答した読者が97.39%にのぼった点です。ほぼすべての読者が、物価高を一部の費目に限った問題ではなく、日々の暮らし全体に関わる負担として受け止めていることがうかがえます。

物価高を感じる費用としては、「食費」が92.44%と最も高く、次いで「ガソリン代」69.15%、「日用品費」60.88%、「外食費」54.03%が続きました。食材や飲料、菓子などの生活必需品に加え、移動に欠かせないガソリン、日々使う日用品、家族や友人との外食まで、読者の負担感は生活の広い範囲に及んでいます。特に食費と日用品費の高さは、生活に必要な固定的な支出にまで物価高の影響が浸透していることを示しています。

向が見られます。旅行・レジャー費に物価高を感じている読者のうち、今後の旅行回数について「減った／減らす予定」は36.58%、「やや減った／減らす予定」は34.96%となり、合計で7割以上が旅行回数の抑制を意識しています。一方で、「あまり変わらない」と回答した人も27.19%存在しており、外出やレジャーへのニーズそのものが失われているわけではありません。



また、外食費に物価高を感じる読者のうち、外食に行く回数が「減った」「やや減った」と答えた人は合計71.69%となり、消費行動の見直しはすでに具体的な行動変化として表れています。さらに、今後の物価について「上昇する」「やや上昇する」と予測する読者は91.83%に達しており、生活者の節約意識は一時的なものではなく、今後も継続する可能性が高いと考えられます。販促においては、こうした生活実感を前提に、価格面の納得感や生活防衛に寄り添う訴求がますます重要になります。

## 近場のお出かけや、日帰り旅行が増加傾向

旅行・レジャー領域では、単に回数を減らすだけでなく、楽しみ方そのものを見直す傾

## ポイント・クーポン活用が節約行動の中心に

物価高対策では、単に支出を減らすだけでなく、ポイントやクーポンを活用して賢く買う行動が広がっています。物価高を感じている読者に対し、実施している対策を聞いたところ、「節約(費用削減)をする」が66.19%で最も高く、次いで「ポイント・クーポンの活用」が57.92%、「まとめ買いをする」が38.55%となりました。外出を控える人も32.73%いますが、それ以上に、買い物やサービス利用の際に“得になる手段”を選びながら生活を維持しようとする姿勢が目立ちます。

生活応援キャンペーンとして嬉しい特典では、「〇%割引」が77.05%で最多となり、「〇〇円OFF」63.02%、「ギフトカード・金券」47.95%、「ポイント還元」40.19%が続きました。一方で、ボリューム増量や1品サービス、初回無料サービスよりも、直接的な割引や金券、ポイント還元が上位に入っています。これは、読者が“今すぐ家計に効く実感”を重視していることを示しており、販促施策では分かりやすい金額メリットの提示が反応につながりやすいと考えられます。生活者は物価高を強く実感しながら、外出は近場へ、購買はポイント・クーポン活用へとシフトしています。今後の販促では、「近場で楽しめる」「すぐ得になる」という訴求が重要です。



『地域みっちゃん生活情報誌®』では、こうした読者ニーズの高まりを受け、広告ページにおけるクーポン掲載を推奨しています。地域の店舗・サービスと読者をつなぐ媒体として、生活者の節約意識に寄り添いながら、来店・利用のきっかけづくりを支援してまいります。

**会社概要** 商号 株式会社 中広 (CHUCO CO., LTD.)  
東証・名証 証券コード【2139】  
創業 1978年  
資本金 4億430万円  
従業員 423名 グループ全体 747名 (2026年6月末現在)

**事業内容** プリママガジン事業 イベント・セミナー事業  
プロモーション事業 通信販売事業  
クロスメディア事業 VC事業(ボランティア・チェーン)

**理念** 広告業を通して「地域社会への貢献」(地方創生に!)  
**社是** 人が命・人が宝・人が財産 (社員が輝く組織に!)  
機会損失の排除 (モノ・トキ・ココロの無駄ゼロ)

**社訓** 飲水不忘掘井人 (感謝の心で!)

**グループ会社** 株式会社中広メディアソリューションズ  
株式会社ケイ・クリエイト  
株式会社ケイビーエス  
株式会社 関西ぼど  
株式会社まちトピア  
株式会社中広ワークイン

**加盟団体** JLAA 一般社団法人日本地域広告会社協会

**第49期 基本方針**  
スローガン 50X テーマ AI Driven

**50X宣言** 中広グループは創業50周年を転換点とし、「50X」を掲げ、本質的な転換へ挑む。築き上げた全国の紙媒体配布網にWEBやAIを融合し、広告の枠を超えた「地域データインフラ企業」へと進化を遂げる。井戸を掘ってくださった先人たちへの感謝と敬意を胸に、進化のための変化を選び続ける。次の50年後も地域の未来を支え続けるため、50周年を起点に、100年続くグループとして、中広グループは次のステージへ進む。

リンク集はこちら

次世代育成支援対策推進法に基づく「くろみん」認定企業です

女性活躍推進法に基づく「えるぼし」認定企業です

2017年取得

2016年取得

年	会社のおゆみ	HAPPY MEDIA®のおゆみ
1978	設立 後藤数次社長就任	
1983	求人情報紙事業開始	
1986	後藤一俊社長就任	
1993	イベント・セミナー事業開始	
1994		●岐阜県「[かにさんくらぶ]」創刊
1997		●滋賀県進出
1998	通信販売事業開始	
2006		●三重県進出
2007	名古屋証券取引所セントレックス上場	●50万部達成
2008		●福井県進出
		講演会インフォ公式ウェブサイト開始
		●100万部達成
		●愛知県進出
2009		
2010		
2011	●児童虐待防止運動を岐阜県高山市で開始	
2012	名古屋証券取引所第二部上場 VC事業開始	●全国展開開始(VC) ●福岡県・山梨県・兵庫県・和歌山県進出 ●200万部達成
2013		●山形県・茨城県・鳥取県進出 ●300万部達成
2014	東京証券取引所第二部上場	●栃木県・宮城県・新潟県・群馬県・大阪府進出 ●岐阜県広報「岐阜県からのお知らせ」掲載開始
2015	東証一部・名証一部に市場変更	●北海道・埼玉県・佐賀県・香川県進出 ●500万部達成
2016		●高知県・福島県・長野県・京都府進出 「ままこっこ」創刊
2017		●東京都・愛媛県・静岡県・宮崎県・奈良県進出 ●三重県「三重県からのお知らせ」掲載開始 ●大分県進出
2018	●児童虐待防止運動を全国へ展開 ●愛知県交通事故死者数 全国ワースト脱却CP開始	
2019	後藤一俊会長就任 中島永次社長就任	[Start!]創刊
2020	●愛知県交通事故死者数全国ワースト脱却CP達成 岐阜市・笠松町とシティ・タウンプロモーションの推進に関する連携協定締結	●沖縄県進出
2021	多治見市とシティプロモーションの推進に関する連携協定締結	クーポンアプリ「フリモ」開始 ●1,000万部達成
2022	大島資社長就任 株式会社中広メディアソリューションズ設立 株式会社中広メディアソリューションズグループ化	●神奈川県進出
2023	株式会社関西ぼどグループ化 ●児童虐待防止運動の一環で 井につぼんオレンジシンボル運動を開始	
2024	●児童虐待防止運動が 文部科学省と子ども家庭庁の後援活動に	●広島県・秋田県・千葉県・岩手県進出
2025	株式会社まちトピア設立 株式会社中広ワークイン グループ化	●青森県・石川県・富山県進出

●:おもなCSR・CSV活動 ●:地域みっちゃん生活情報誌®

## 営業拠点

- 本社**  
岐阜本社 岐阜市東興町27  
名古屋本社 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F
- FM事業部**  
《北海道》SORA編集室 滝川市東町6-1-11 TEL.0125-74-6169 旭川市東光6条6-4-7 TEL.0166-85-6158  
《宮城県》とみいず!編集室 仙台市泉区泉中央1-33-7 2F TEL.022-341-4809  
なうてい!編集室 名取市手倉田字諏訪532-1 1F西 TEL.022-797-8541  
ざきっぺ!編集室 大崎市古川旭5-3-2 2F TEL.0229-25-8792  
《群馬県》高崎フリモ 前橋フリモ編集室 高崎市新保町139-1 2F [高崎フリモ]TEL.027-353-8714 [前橋フリモ]TEL.027-353-8711  
伊勢崎フリモ 太田フリモ編集室 伊勢崎市茂呂町2-3522-6 TEL.0270-61-6117  
桐生みどりフリモ編集室 桐生市本町6-27-1 3F TEL.0277-47-7635  
《埼玉県》クッキーズ・とねじん編集室 久喜市久喜中央2-8-23 3F TEL.0480-38-6881  
《富山県》いかわプラス編集室 魚津市新金屋1-12-38 4F TEL.0765-57-5120  
《福井県》きらめきくらぶ編集室 敦賀市野神40-277-2 1F TEL.0770-24-2622
- 《山梨県》** ParuPi・ピグレ編集室 甲府市上石田3-4-10 2F TEL.055-221-0682
- 《岐阜県》** GIFUTO編集室 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2512  
SARUBOBO編集室 高山市下岡本町2967-2 TEL.0577-34-5579  
Wao!Club・mintoup はしまる編集室 大垣市加賀野4-1-13 [Wao!]TEL.0584-75-1960 [mintoup]TEL.0584-77-4088 [はしまる]TEL.0584-71-6226  
GUJOプラス編集室 郡上市八幡町小野91-1 TEL.0575-67-0655  
たんとんくらぶ編集室 各務原市那加栄町14-1 TEL.058-380-6066  
きらくらぶ編集室 関市山王通1-6-3 TEL.0575-24-4334  
かにさんくらぶ編集室 可児市今渡字町1595-190 TEL.0574-25-7009  
おりべくらぶ編集室 多治見市太平町4-38 [おりべくらぶ]TEL.0572-21-2626 [らせくらぶ]TEL.0572-55-2033  
maika club編集室 中津川市駒場字青木429-3 TEL.0573-62-2522
- 《愛知県》** フリモUP編集室 名古屋市中川区柳森町107 2F TEL.052-355-6111  
緑区フリモ編集室 名古屋市緑区六田1-150 2F TEL.052-829-0270  
守山フリモ・アサヒトセト編集室 尾張旭市東本郷ヶ原町3-53 2F [守山フリモ]TEL.0561-42-5799 [アサヒトセト]TEL.0561-42-6981
- ゆいまるくらぶ・かなうくらぶ 愛知県東郷町北山台4-1-6 [ゆいまるくらぶ]TEL.0561-42-4850 [かなうくらぶ]TEL.0561-42-4855
- cocolu club・安城フリモ 北知多フリモ編集室 知多郡東浦町大字緒川字下沙田17-1 TEL.0562-85-1077  
リアル倶楽部編集室 犬山市松本町2-29 TEL.0568-39-6111  
岡崎フリモ編集室 岡崎市明大寺町字川端19-13 4F TEL.0564-83-7121  
尾田フリモ・オレンジクラブ編集室 瀬田郡幸田町大字芦谷毛倉62 1F TEL.0564-83-7763
- 《三重県》** ぽんくらぶ編集室 桑名市殿町10 TEL.0594-25-9988  
Belive club編集室 鈴鹿市神戸1-10-10 TEL.059-373-4400  
よっかいちai編集室 四日市市鶴の森1-5-16 8F TEL.059-325-7562  
つっぴーず編集室 津市栄町1-840 5F TEL.059-213-7666  
リーガクラブ編集室 名張市鴻之台3番町36-1 TEL.0595-41-0156  
ふぁみんぐくらぶ編集室 松阪市東町596 3号棟 1-A TEL.0598-31-3623  
イセラクラブ編集室 伊勢市岩濑3-6-5 2F TEL.0596-63-8282  
からっと倶楽部編集室 尾鷲市中村町6-52 2F TEL.0597-37-4100  
さみっとくらぶ編集室 志摩市阿児町瀬方2850-126 D号室 TEL.0599-65-7201
- 《滋賀県》** ほてじゃこ倶楽部編集室 長浜市宮司町1161-7 2F TEL.0749-68-2577  
こんざくらぶ編集室 彦根市長曾根町9-22 1F TEL.0749-26-0555  
アウトテック編集室 近江八幡市桜宮町289 3F TEL.0748-36-1148  
むわごと編集室 [大津北版] [津津・守山版] 大津市浜大津2-1-35 6F TEL.077-521-3911
- 《奈良県》** かしらくらぶ編集室 橿原市新栄町237-1 2F TEL.0744-48-0606
- 《和歌山県》** まいながが・まいとん編集室 岩出市高瀬84-2 2F TEL.0736-67-7630
- 《鳥取県》** つばさ編集室 鳥取市吉方温泉3-860 2F TEL.0857-30-6446  
くらくらぶ編集室 倉吉市山根540-1 4F TEL.0858-27-0510  
こはくらぶ編集室 米子市西福原2-9-49 2F TEL.0859-21-5400
- 《広島県》** はつカラ編集室 廿日市市新宮2-1-10 1F TEL.0829-30-6673  
えるびん編集室 福山市西町2丁目 5-5 2F TEL.084-999-1535
- 《福岡県》** むなふ・おるね編集室 宗像市土1-1-34 1F [むなふ]TEL.0940-72-6101 [おるね]TEL.0940-72-6102
- 《佐賀県》** 月刊TOSS編集室 鳥栖市東町1-1064-15 1F TEL.0942-50-9619
- 東京プロモーション事業部** 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940  
ES部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-248-5611
- 中部プロモーション事業部** 名古屋市中村区名駅1-1-1 24F TEL.052-571-2139
- ビジネスプロデュース事業部** ビジネスプロデュース部 [北海道・東北BP課] 山形営業所 TEL.023-641-9012 福島オフィス TEL.023-641-9012 富山営業所 TEL.076-442-5805 金沢営業所 TEL.076-223-7581 大阪オフィス TEL.06-7178-0531
- 株式会社関西ぼど** 本社 大阪市西区朝本町1-6-6 3F TEL.06-6479-3113  
北大阪支社 TEL.072-827-0810  
東大阪営業部 TEL.06-6729-8101
- 株式会社中広メディアソリューションズ** 本社 / 横浜オフィス 横浜市西区みなとみらい3-3-3 11F TEL.045-514-1409  
増玉オフィス TEL.048-767-8238  
増玉西オフィス TEL.04-2928-3277  
仙台オフィス TEL.022-792-8101  
山形オフィス TEL.023-616-7390
- 株式会社ケイ・クリエイト** 一宮本社 一宮市木曾川町里小牧東125 TEL.0586-86-0608  
岩倉支社 TEL.0587-96-8331  
清須支社 TEL.052-908-2877  
静岡オフィス
- 株式会社ケイビーエス** 本社 岩倉市新柳町1-50 2F TEL.0587-96-8336  
大阪支社 TEL.06-6780-3270
- 株式会社まちトピア** 港区新橋2-16-1 9F TEL.03-6910-2940
- アライアンス事業部** VC部 岐阜市東興町27 4F TEL.058-247-2511
- EC統括室** 大垣市加賀野4-1-13 TEL.0584-74-0745
- 管理本部** 経理部・総務人事部 岐阜市東興町27 2F TEL.058-240-4005 [購買流通課]TEL.058-246-0285